

## 小学校の部 優秀賞

四国防災八十八話 第59話 避難用の舟

「避難用の舟」を読んで

柏小学校 5年 やまぐち 山口 かえで 楓

私はこの話を読んで、備えの大切さを強く感じた。避難用の舟の話からは、防潮堤がどれほど重要な役割をしているかがよく分かった。私たちが取り組んでいる防災学習でも、すの川チームが「防潮堤は津波を止めるものではなく、避難する時間をつくるものだ」と教えてくれた。防潮堤がしょうげきをおさえてくれている間に、どう行動するかが大切なのだと気づいた。

また、これまでの防災ミニ学習会で、災害には予測できるものと、できないものがあると学んだ。大雨や台風のように前もって情報が分かる災害は、正しく判断すれば被害を小さくできる。一方、地震のように予測できない災害は、ふだんから備えておくしかない。

私は、震度六弱の地震を経験し、そのおそろしさを体で知った。短いゆれでも強いきょうふを感じたのに、もし何分も続いていたらと思うとぞっとする。だからこそ、避難リュックの準備やかい中電とうなどできる対策は今すぐにでも進めるべきだと思う。備えがあることで、災害に立ち向かう勇気が生まれると思うからだ。あなたも、今日から災害への備え、始めてみませんか。